

中央保健センターでの一般健診廃止、小・中学校給食費の値上げ...負担を増やす「行政改革」ではなく 市民生活に光をあてる政治を！

《松坂未喜委員》

牧山 隆議員

行政改革の名で健診業務廃止

長崎市は今年度から、中央保健センターでの一般健診業務の廃止や保健環境試験所の検査業務廃止などで各検査技師を削減する提案を行いました。



牧山議員は、一般健診は低価格で行われ、進学・就職のためや中小企業などの健診に歓迎されているもので廃止は、市民サービスの低下であると指摘しました。また、保健環境試験場の検査業務廃止は、三方山の水質検査や環境を改善していく市の姿勢の後退につながる」と指摘しました。さらに、議員の海外視察の予算計上は、市民の批判が強く海外視察は中止すべきと主張しました。

《厚生委員会》

中田 剛議員

市民団体からの請願採択に全力

厚生委員会では、三件の請願が審議されました。「南が丘交番の存続に関する請願」「消えた年金問題の早急な解決と最低保障年金制度の実現を求める請願」「低所得者層の国民健康保険税と介護保険料の負担を抜本的に軽減するための条例改定検討を求める請願」です。いずれも日本共産党市議団は紹介議員になり採択に全力をあげました。



凶悪事件が相次ぐなか、「南が丘交番の存続」は採択されましたが「国保料などの負担軽減」の請願は不採択になりました。なお「年金問題」は継続審査となっています。

怒りと混乱ひろがる後期高齢者医療制度
四月一日から後期高齢者医療制度が実施・強行されました。市役所窓口には「保険証が届かない」などの相談や苦情が連日寄せられています。また、年金から保険料が天引きされたことに「生活できない」「なぜ天引きか」と怒りがひろがっています。

高齢者を別枠の保険に追い出し、一人残らず保険料を有無をいわず取り上げる。医療は差別して病気に応じた治療を制限するなど「後期高齢者医療制度」は世界のどこにも例がない制度です。ただちに中止・廃止するよう、みなさんと力あわせませます。

《文教経済委員会》

中西敦信議員

小中学校の給食費は

値上げではなく公費で負担を

現在、長崎市の学校給食費は月額小学校三千五百円、中学校四千円です。今回、長崎市は、四月から小中学校給食費の三百円の値上げを提案してきました。



中西議員は、新日本婦人の会から出された「値上げ撤回の陳情」の審議の中で、「学校給食は教育の一環であり、値上げではなく値下げし、無償化が目指されるべき。就学援助の適用率が二十%を超えるなど生活が厳しい中、三百円の値上げは家計への影響は大きく、値上げ分は公費で負担するべき」と求めました。学校教育部長は、「値上げは今回限りになるよう努めたい」と答えました。

《建設水道委員会》

津村国弘議員・内田隆史議員

ダム建設ではなく

合併町の中小水源の活用を

いま長崎市は、諫早市の本明川にダムをつくり長崎市への受水計画（南部広域水道事業）を進めています。

委員会の審議で津村議員と内田議員は、合併後も水道の使用水量は変わらず、受水計画も少い方へ見直されており、合併町の水源を活用すれば、諫早の本明川ダムからの受水は必要がないし、合併町の住民の願いにも応える方向であると主張しました。環境破壊のダム建設は見直すべきだと指摘して反対しました。

今回出された請願など

請願の内容	採択	共産党
南が丘交番の存続に関する請願		賛成
消えた年金問題の早急な解決と最低保障年金制度の実現を求める請願	×	賛成
低所得者層の国民の年金保険税と介護保険料の負担を抜本的に軽減するための条例改定検討を求める請願	×	賛成
新幹線西九州ルートの新幹線建設中止を求める意見書採択をお願いする請願	×	賛成
後期高齢者医療制度に関する意見書		賛成

日本共産党長崎市議会議員団

2008年4月 第165号

控室 829-1405